

キュレットによる小皮膚外科術

医療法人新生会 八幡病院 皮膚科 部長 前田 学 先生

小皮膚外科術

キュレットは主に壊死組織の切除に用いられる器具のひとつであるが、皮膚外科にも有用である。

症例（図a）は60歳・女の指爪甲下の病変を示している。当初グロムス腫瘍を疑ったが、病理像は血管腫であった。局所麻酔後、キュレットを用いて病変部を切除した（図b）。



図a 術前



図b 術中

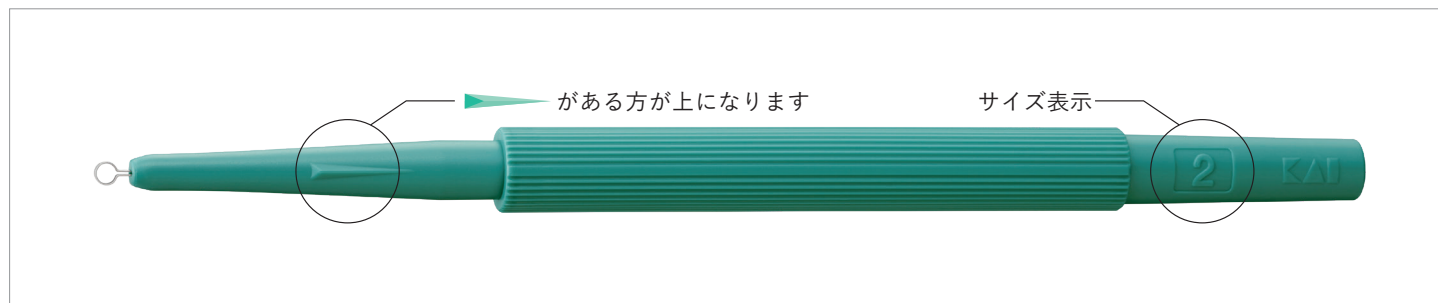
キュレットについて

丸い筒状ないしリング状の刃がプラスチック製の柄の先端に装着された医療器具で、潰瘍部や壊死病巣のデブリッドマンに使用されることが多い。爪甲下のグロムス腫瘍の摘出には好都合である。



刃は下向きにつけてあります

サンプルのご依頼はこちら▶



販売名：皮膚キュレット / 医療機器認証番号：225ABBZX00095000



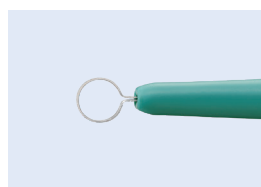
MK402
2mm



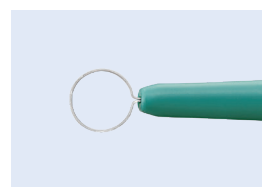
MK403
3mm



MK404
4mm



MK405
5mm



MK407
7mm

製造販売元

カイ インダストリーズ株式会社
医療器事業本部 営業部 国内

〒501-3992 岐阜県関市小屋名1110
Phone (0575)28-6600 Fax (0575)28-6611
<https://www.kaimedical.jp/>

製品情報の
詳細はこちら▶

